



もう一つのイビサ

スペインの東、地中海に浮かぶ世界遺産イビサ島は、世界一の名だたるパーティアイランド。夏場はヨーロッパの有名ナイトクラブが店を開け、世界中からスターDJが集まる。しかし、英国から移住したDJジョン・サ・トリンサは、島の最南端サリナスビーチで25年間、パーティサウンドとは異なる音楽を紡いでいる。それが、ジャンルにこだわらず物語にあふれたバレアリック・ミュージック。あまりにも自由で垣根のない生き方をする彼の精神そのもの。DJなのに早寝早起きで、何千人も相手にする大型クラブより顔の見える距離感が好き。映画は、おじさんDJのチャーミングな生きざまを、島に息づく多彩な、しかし時代の波の中で変容する文化とともに、息をのむような映像と身も心も委ねてしまいたくなるリズムで描き出す。

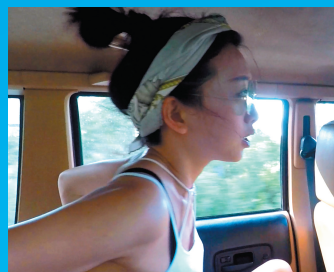


DJジョン・サ・トリンサ

ホセ・パディーヤやアルフレッドなど世界に名をとどろかせるクラブDJとは一線を画す、イビサの伝説的なローカルDJ。ヨーロッパを中心に世界中に多くの熱狂的なファンをもつ。1987年ロンドンでDJキャリアをスタート、1994年イビサ島へ移住。サリナスビーチにあるサ・トリンサというレストランに併設された小さなチリングート(海小屋)で正午から夕日が沈むまでの8時間あまりDJをして、ジョンの音楽を求めてやってくる世界中の人々に極上の体験を届けている。



おじさんディスクジョッキー、
ジョン・サ・トリンサの
バレアリックな暮らしと音楽って何？



リリー・リナエ

台湾人の両親を持ち新宿歌舞伎町で育ったリリー・リナエ。TV局や大手広告代理店に勤めながらも日本社会での自らの立ち位置に窮屈さを感じ、20代の終わりとともにキャリアを捨ててNYに飛び立つ。映像作家としてやっと地歩を固めようとしたころ、旅で出会った、物語と色彩に溢れるDJジョン・サ・トリンサの音楽に衝撃を受け、居ても立っても居られずイビサとジョンの懷に飛び込む。ジョンの誠実で自由な生きざま、イビサの包み込むような風土、流れる色彩に満ちた音楽。20代の貯金と日米のクラウドファンディングで集めたお金、そして3年間の月日をつぎ込み、監督に変貌したリリー・リナエが、国際的なスタッフとともに全力を尽くして完成させた初めての長編ドキュメンタリー。映画での使用楽曲数73、監督自身が選曲し、清水天務仁・村上怜・伊藤圭一が仕上げたサウンドがバレアリックな音楽宇宙を現出する。

監督・字幕:リリー・リナエ

2020年 / 日本 / カラー / 1.90:1 / 71分 / 5.1ch / 英語・スペイン語・日本語・フランス語

配給:オンリー・ハーツ 宣伝:ブライトホース・フィルム

後援:スペイン大使館 / インスティトゥ・セルバンテス東京 / スペイン政府観光局

協賛:KEY pro / Image Studio 109

応援:Pioneer DJ / 株式会社アンド・コスメ (BOTCHAN) / bar bonobo / GOLD FINGER

HAVANA CLUB / itoma CBD / PULPLISM / Sea'ds mara / The Sunrise Shack Japan

© Pure in the Moon

2025 6/25(水) ①14:00 開演 ②18:30 開演
※各回開場は 30 分前

全席指定 500 円

主催



鶴見区民文化センター サルビアホール
指定管理者 神奈川共立・ハリマビシステム 共同事業体

発売日

窓口

10:00 ~

5/9

電話・web

14:00 ~

ご予約 / お問い合わせ: 045-511-5711

詳細

